

概算数量発注方式説明書

一宮市建設部

平成30年4月

目次

概算数量発注要領	-----	1
工事計画図書作成要領	-----	5
事例 ①側溝改良工事	設計書 -----	7
	工事計画図書 -----	21
②舗装改良工事	設計書 -----	27
	工事計画図書 -----	38

一宮市概算数量発注要領

(目的)

第1条 積算業務の簡素化を図り、業務の円滑な積算と執行、契約の効率化を促進することを目的とする。

(定義)

第2条 概算数量発注とは、当初設計で平面図、標準断面図を明示し概算の数量を算出して発注する工事(一部を概算で発注する工事を含む)をいう。

(適用範囲)

第3条 適用範囲は次の条件をすべて満足する工事を対象とする。なお、委託事業等により詳細図面がある場合には適用しない。

- 1) 構造、形状等が著しく変化しない比較的単純な工事(舗装工、区画線工等)
- 2) 現地精査の結果と概算数量とのかい離等により、工事費、工期等に著しい影響を与えない工事
- 3) 詳細数量を算定することが非効率であると考えられる工事

(留意事項)

第4条 概算数量発注方式は当初設計時の数量を「概算」とすることで、積算業務における図面作成、数量計算に係わる事務量の低減を目的とした方式であり、施工に必要な起終点等の工事範囲や内訳を図面、設計書に明示することは、従来の発注方式と変わるものではないことに注意する。

2 設計書決裁時に概算数量を含むことを明記し、設計書検算時に概算数量発注が適当かの確認を課内で行うとともに、概算数量により発注する内容について所属長の承認を受けるものとする。

3 概算数量で発注する設計書は、発注者及び請負者が確認できるよう「概算」を以下のとおりに明示する。

- (1) 設計書の本工事費内訳書の備考欄と集計表に「概算」と明示
- (2) 特記仕様書に数量が「概算」であることを明示

4 当初設計時の図書等は下記を標準とする。

- (1) 位置図
- (2) 平面図
- (3) 標準断面図
- (4) 構造図(標準図)
- (5) 集計表(概算数量の根拠を明示すること。「標準断面図の数量×延長」で計上してよい。)
- (6) その他必要な図面等

5 請負者が施工前に行う「工事計画図書」の作成費用として、「工事計画図書作成費」を共通仮設費の「準備費」に計上する。

6 「工事計画図書」は下記を標準とするが、必要なものを予め特記仕様書に明記すること。

- (1) 平面図、縦断図、横断図、構造図、展開図、区画線図等の実施予定図面
- (2) 実施予定の集計表、数量計算書

7 区画線数量は、「車線数×延長×2.4(係数)」により算出することを基本とするが、これによりがたい場合は、別途算定すること。

8 工事計画図書作成日数は、工期に15日加算すること。

(特記仕様書)

第5条 特記仕様書に別紙「特記仕様書」を追加すること。

(発注後の指示・監督)

第6条 契約後、発注者の意図を請負者に説明する。説明は、地元関係者の立会いのもと現場で行い、工事内容を確認する。

2 請負者の現場確認後、条件変更確認請求通知書にて「工事計画図書」を提出させる。発注者は請負者とともに現場に赴き「工事計画図書」をチェックする。

3 工事着手後にしか数量が定まらないものを除き、施工前に数量を確定する。

4 発注者は、条件変更確認通知書にて「工事計画図書」を了解し、通知する。また、設計変更協議書により設計変更内容を協議する。

5 変更積算は、「工事計画図書」に基づいて行う。

6 変更理由は、「概算数量発注工事の精査による」とする。

7 具体的な流れは、別添「概算数量発注のフローチャート」参照による。

(その他)

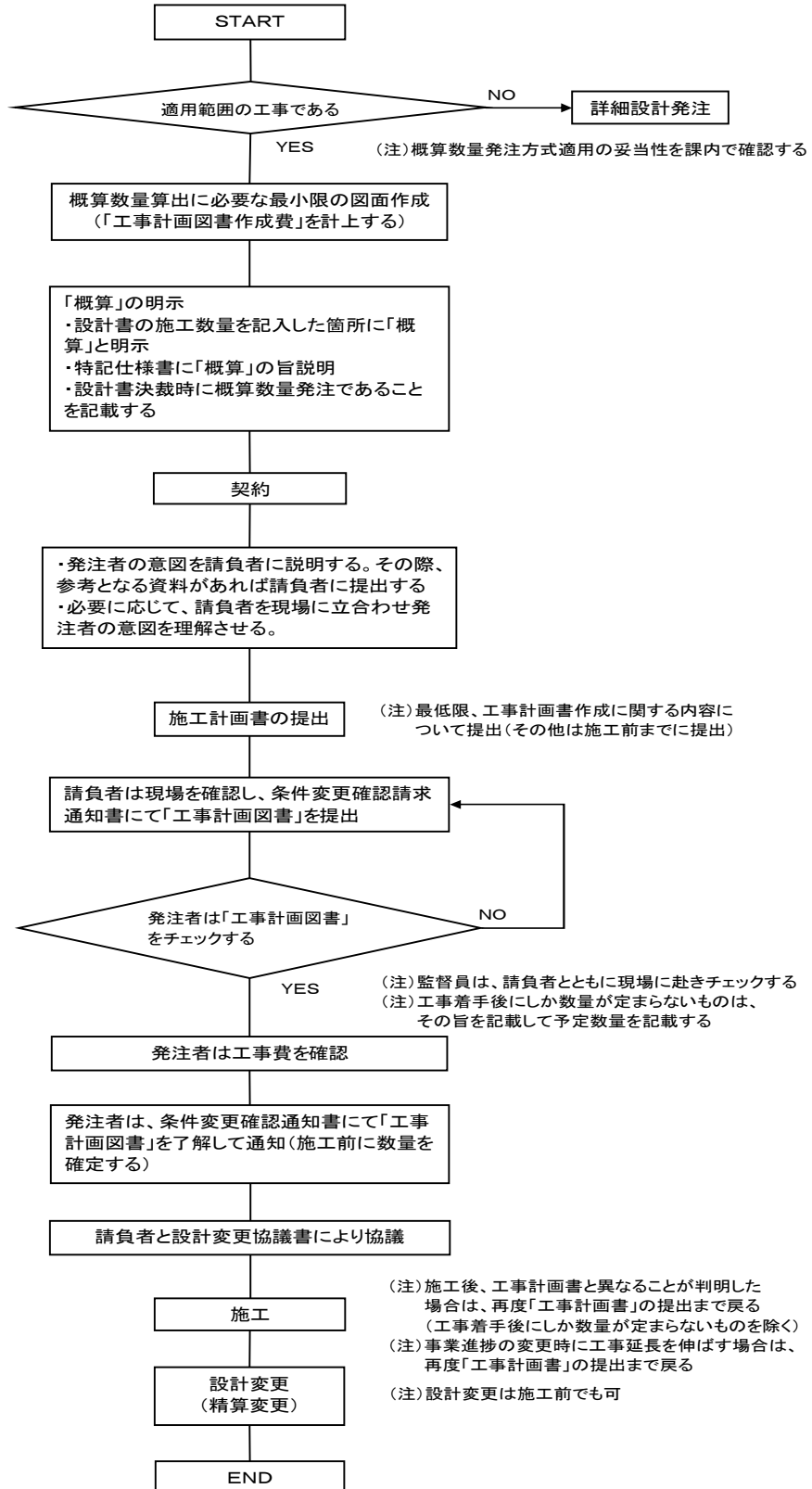
第7条 この要領に定めるもののほか必要な事項については、一宮市契約規則(昭和50年規則第16号)、公共工事施行に関する事務取扱要領(平成28年4月1日施行)の例によるほか、発注者と請負者とが協議して定める。

付 則

1 この要領は、平成30年4月10日から施行する。

2 一宮市概算数量発注要領(試行)は廃止する。

概算数量発注のフローチャート



特記仕様書(概算数量発注方式)

- 第1条 本設計は概算数量により積算したものである。設計数量は「工事計画図書」により確定するものとする。
- 第2条 本設計は、平面図及び標準断面図のみで発注している。そのため、当初設計内容を踏まえ、請負者において現場を調査し、「工事計画図書」を作成するものとする。
なお、「工事計画図書」の作成は、「工事計画図書作成要領(一宮市)」に準拠するものとする。
- 第3条 第2条でいう「工事計画図書」とは、下記の図書をいう。
1) 平面図、縦断面図、横断面図、構造図、展開図、区画線図等の実施予定図面。
2) 実施予定の集計表、数量計算書。
注) _____部分は、当該工事に必要と考える図書を明記する。
- 第4条 請負者は速やかに「工事計画図書」を作成し、条件変更確認請求通知書を監督員に提出し、条件変更確認通知書及び設計変更協議書を監督員から得なければならない。
- 第5条 「工事計画図書」の内容が反映された設計変更協議書に承諾後、工事を実施する。
- 第6条 「工事計画図書」の作成に要する費用は、共通仮設費の準備費に計上している。
- 第7条 請負者は本工事に関して、疑義が生じた場合には、速やかに監督員と協議すること。
- 第8条 本工事の工期には、工事計画図書作成に必要な日数15日を加算している。

工事計画図書作成要領

工事計画書で提出する図面及び集計表については、本要領で定める内容に基づき作成するものとする。

なお、図面の大きさは、A3を標準とする。

1. 平面図

- ①当初設計時の平面図を使用する。
- ②記入事項は、赤字とする。
- ③工事起点、工事終点の測点Noを記入する。測点間隔は、40mを標準とし、必要に応じて断面変化点等の測点を記入する。
- ④実施予定の延長を記入する。また、追加工種があれば、名称、規格等も記入する。
- ⑤水路工事や側溝工事において、縦断面図の作成が明記されていない場合は、各測点における現況高と計画高を表示する。

2. 縦断面図

- ①縮尺は、縦 1/50、横 1/500 を標準とする。
- ②記載事項は、測点、追加距離、現況高、計画高、勾配を標準とする。

3. 横断面図

- ①縮尺は、1/50 を標準とする。
- ②平面図に記入した測点毎に作成する。

4. 構造図

- ①縮尺は、1/20 を標準とする。
- ②追加工種を実施する場合、標準構造図としてあるものであれば作成する必要はない。

5. 展開図

- ①縮尺は、幅員方向 1/100、延長方向 1/200 を標準とする。
- ②施工形状、延長、寸法、種別等を記入する。

6. 区画線図

- ①縮尺は、幅員方向 1/100、延長方向 1/200 を標準とする。
- ②路面表示の種類、位置、形状、寸法、延長を記入する。
- ③区画線図の作成が明記されていない場合でも復旧がある場合には、平面図に記入する。

7. 集計表、数量計算書

- ①集計表で概算と明示された数量について、実施予定数量を赤字で記入する。
- ②追加工種がある場合には、必要事項をすべて記入する。
- ③集計表に記入する数量を算出する数量計算書を、必要に応じて作成する。

8. その他

本要領に記載のない事項は、監督員と協議して定めるものとする。

本工事内訳書

道路第
契約
工期
号

設 計 書

工 事 名 市道 号線 外1線 道路改良工事

概算数量発注方式適用工事
(全部 ・ 一部)

工 事 場 所 一宮市 地内

設 計 金 額 金 円也 工 事 価 格 円也

消 費 税 相 当 額 円也

〈 概 要 〉

工事延長	L = 117.0 m (概算)	PU深型側溝工 250×700	116.2 m (概算)
		集水柵工 T-25 □500×700	1 箇所 (概算)

本工事費内訳書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考欄
道路改良	式	1			費目行	
道路土工	式	1			工種行	
作業土工	式	1			種別行	
床掘り	m ³	107			1号明細書 10頁	(概算)
埋戻し (RC-40)	m ³	48			2号明細書 11頁	(概算)
残土処理工	式	1			種別行	
残土処理 【運搬距離3km】	m ³	97			3号明細書 12頁	(概算)
構造物撤去工	式	1			工種行	
構造物取壊し工	式	1			種別行	
舗装版切断工	m	117			4号明細書 13頁	(概算)
運搬処理工	式	1			種別行	
殻運搬処理 【Co殻 運搬距離7km】	m ³	5			5号明細書 14頁	(概算)

本工事費内訳書

名称・規格	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	備 考 欄
殻運搬処理 【As殻 運搬距離7km】	m ³	6			6号明細書 15頁	(概算)
濁水運搬 【運搬距離10km以内】	台・回	0.2			7号明細書 16頁	(概算)
濁水処理 【運搬距離10km以内】	m ³	0.2			8号明細書 17頁	(概算)
舗装工	式	1			工種行	
アスファルト舗装工	式	1			種別行	
舗装復旧工 【表層厚5cm 下層路盤10cm】	m ²	105			9号明細書 18頁	(概算)
排水構造物工	式	1			工種行	
側溝工	式	1			種別行	
PU深型側溝工 【250×700 50m以上】	m	116.2			10号明細書 19頁	(概算)
集水柵工	式	1			種別行	
集水柵工 【T-25 □500×700】	箇所	1			11号明細書 20頁	(概算)
区画線工	式	1			工種行	

本工事費内訳書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考欄
区画線工	式					
50m未満		1			種別行	
溶融式区画線設置工	m					
【実線・ゼブラ15cm 50m未満】		10			12号明細書 21頁	(概算)
溶融式区画線設置工	m					
【実線・ゼブラ30cm 50m未満】		3.0			13号明細書 22頁	(概算)
道路付属施設工	式					
		1			工種行	
道路付属物工	式					
		1			種別行	
直接工事費						
(処分費等)	式					
		1			1号内訳書 5頁	
共通仮設費計						
共通仮設費(積上分計)						
安全費	式					
		1			2号内訳書 6頁	

準備費

式

1

10

号内訳書 頁

本工事費内訳書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考欄
共通仮設費(率分)	式					
		1			3号内訳書 7頁	
純工事費						
現場管理費	式					
		1			4号内訳書 8頁	
工事原価						
一般管理費等	式					
		1			5号内訳書 9頁	
契約保証	%					
		0.04				
一般管理費等計						
工事価格						
消費税相当額	%					
		8				
設計価格						

準備費

内訳書

(号内訳書)

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考欄
工事計画書作成費 (概算数量用) 展開図作成費	km					
		0.12				
工事計画書作成費 (概算数量用) 数量計算書作成費 (数量総括表含む)	km					
		0.12				
計						

集 計 表 工事延長 L= 117.0 m(概算)						
工 種	種 別	細 別	規 格	計 算	単 位	数 量
道路土工	作業土工	床掘		(概算) $0.90 \times 116.2 + 2.35 = 106.9$	m ³	107
		埋戻 (RC-40)		(概算) $0.40 \times 116.2 + 1.79 = 48.3$	m ³	48
	残土処理工	残土処理		(概算) $106.9 - 4.6 - 5.8 = 96.5$	m ³	97
構造物撤去工	構造物取壊し工	舗装版切断工		(概算) 117.0	m	117
	運搬処理工	殻運搬処理	Co殻	(概算) $0.04 \times 116.2 = 4.6$	m ³	5
		殻運搬処理	As殻	(概算) $0.05 \times 116.2 = 5.8$	m ³	6
		濁水運搬		(概算) 0.2	台・回	0 2
		濁水処理		(概算) 0.2	m ³	0 2
舗装工	アスファルト舗装工	舗装復旧工	(5-10)	(概算) $0.90 \times 117.0 = 105.3$	m ²	105
排水構造物工	側溝工	PU深型側溝工	250 × 700	(概算) 116.2	m	116 2
	集水柵工	集水柵工	T-25 □500 × 700	(概算) 1.0	箇所	1
区画線工	区画線設置工	溶融式区画線	実線・ゼブラ15cm	(概算) 10.0	m	10
		溶融式区画線	実線・ゼブラ30cm	(概算) 3.0	m	3
共通仮設費	準備費	工事計画図書作成費	展開図作成費		km	0 1 2
			数量計算書作成費(数量総括表含む)		km	0 1 2

大項目	中項目	適用項目	小項目	明示事項	内容				参考明示						
V	建設副産物	①	建設発生土	1	建設発生土の利用	搬入元利用方法	数量	土質区分	片道運搬距離	備考					
						現場内利用									
						現場利用条件	土質試験	項目							
							土質改良	箇所・数							
							仮置き場								
	○	2	建設発生土の搬出	搬出先	数量	土質区分	片道運搬距離	備考	○						
				丸石(株)一宮営業所	82㎡	2種	4.0km								
	○	②	建設廃棄物	○	1	建設廃棄物の処理	建設廃棄物の種類	処理等施設の名称	片道運搬距離	備考	○				
							コンクリート塊	大成ロテック(株) (小牧市小木東)	9.1km						
							アスファルト塊	大成ロテック(株) (小牧市小木東)	9.1km						
濁水 (舗装版切断)							五曠建設(株) (一宮市千秋町浮野)	10.0km							
VI	資料の確認	①	資料の確認	1	測量成果簿の貸与										
				2	用地境界杭の確認資料提示										
				3	測量基準点の確認資料提示										
				4	設計委託成果の貸与										
				5	設計委託成果の貸与										
VII	その他	①	その他	1	調査・試験等に対する協力										
				2	工事施工後にしか設計数量が定まらない工種										
				○	3	概算数量発注方式	特記仕様書(概算数量発注方式)	別紙のとおり							

(使用資材)

第4条 本工事に使用する資材等は、品質が規格値を満足し、かつ価格が適正である場合には県内産品の優先使用に努めること。

- 2 本工事において使用する木材は、原則として「あいち認証材」とし、それにより難しい場合は監督員と協議すること。
リサイクル資材の率先利用を図るため、「一宮市の環境物品の調達の推進に関する基本方針」に基づくグリーン調達資材を遵守し、あいくる材として認定されている資材の利用拡大に努めること。
- 3 あいくる材の使用に関する市への書類提出は不要とする。

(街区基準点)

第5条 工事区間内に街区基準点の設置が判明した場合は、一宮市建設部道水路管理課と協議し、指示に従うこと。

(現場打ちの鉄筋コンクリート構造物におけるスランプ値の設定等)

第6条 現場の鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン(平成29年3月)」を基本とし、構造物の種類、部材の種類と大きさ、鋼材の配筋条件、コンクリートの運搬、打込み、締固め等の作業条件を適切に考慮し、スランプ値を設定するものとする。ただし、一般的な鉄筋コンクリート構造物においては、スランプ値は12cmとすることを標準とする。

- 2 請負者は、設計図書のスランプ値を変更に際して、コンクリート標準示方書(施工編)の「最小スランプの目安」等に基づき協議資料を作成し、監督員へ提出し協議するものとする。
なお、品質確認方法については、監督員と協議するものとする。
- 3 第1条に記載のある仕様書及び設計図書等の関係図書に記載のある一般的な鉄筋コンクリート構造物のスランプ値は、8cmを12cmと呼ぶ。

(施工計画書)

第7条 請負者は、請負額が3500万円未満の場合、施工計画書の記載内容の省略する項目について、監督員との協議又は指示に従うこととする。

(電子納品)

第8条 工事写真については、工事写真の電子納品実施要領に基づくものとする。

- 2 その他の書類については、電子納品の対象としない。
ただし、電子納品を希望する場合は、詳細な取扱い等、監督員との協議又は指示に従うこととする。

特記仕様書(概算数量発注方式)

第1条 本設計は概算数量により積算したものである。設計数量は「工事計画図書」により確定するものとする。

第2条 本設計は、平面図及び標準断面図のみで発注している。そのため、当初設計内容を踏まえ、請負者において現場を調査し、「工事計画図書」を作成するものとする。

なお、「工事計画図書」の作成は、「工事計画図書作成要領(一宮市)」に準拠するものとする。

第3条 第2条でいう「工事計画図書」とは、下記の図書をいう。

- 1) 平面図、展開図の実施予定図面。
- 2) 実施予定の集計表、数量計算書。

第4条 請負者は速やかに「工事計画図書」を作成し、条件変更確認請求通知書を監督員に提出し、条件変更確認通知書及び設計変更協議書を監督員から得なければならない。

第5条 「工事計画図書」の内容が反映された設計変更協議書に承諾後、工事を実施する。

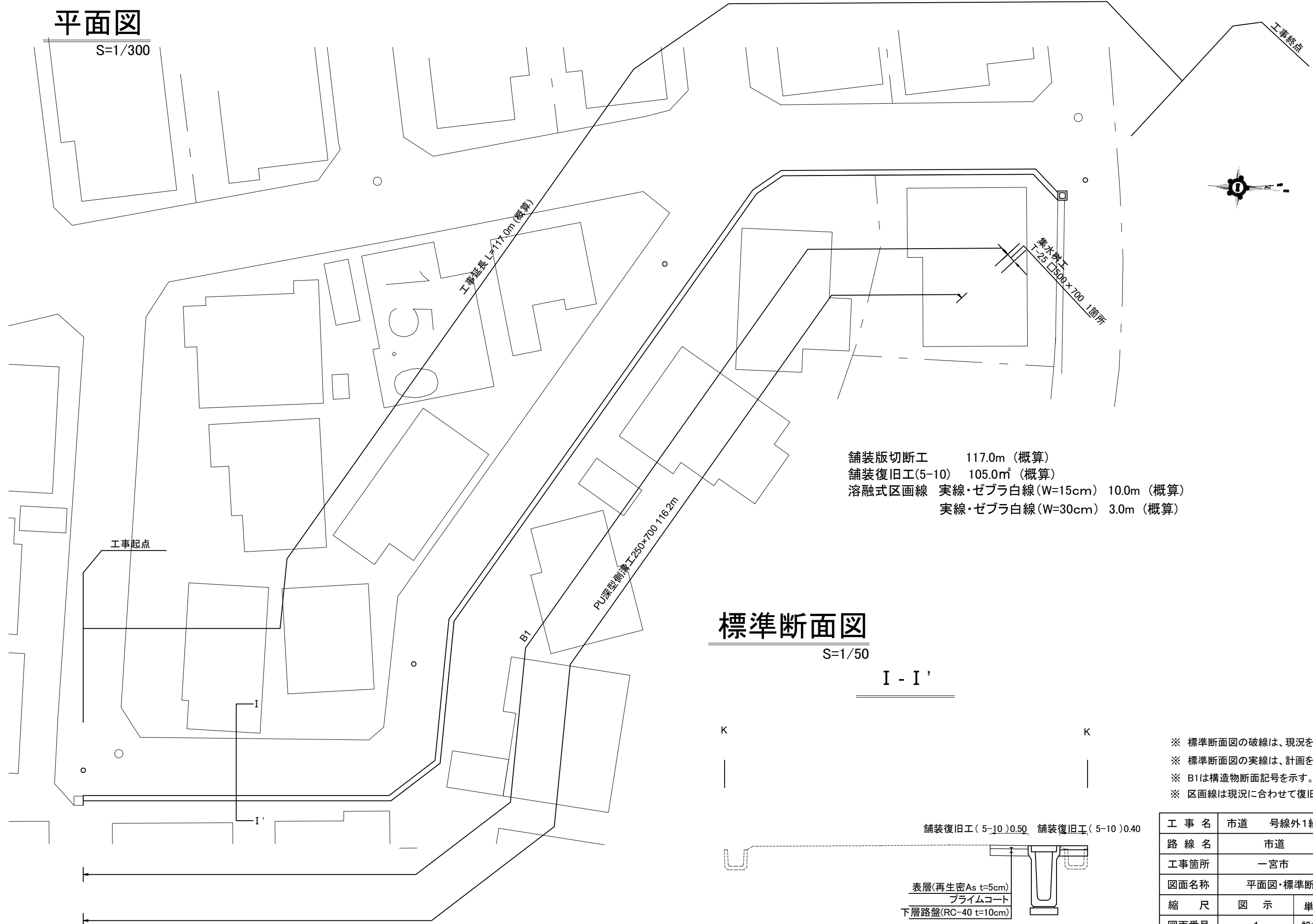
第6条 「工事計画図書」の作成に要する費用は、共通仮設費の準備費に計上している。

第7条 請負者は本工事に関して、疑義が生じた場合には、速やかに監督員と協議すること。

第8条 本工事の工期には、工事計画図書作成に必要な日数15日を加算している。

平面図

S=1/300



- 舗装版切断工 117.0m (概算)
- 舗装復旧工(5-10) 105.0㎡ (概算)
- 溶融式区画線 実線・ゼブラ白線 (W=15cm) 10.0m (概算)
- 実線・ゼブラ白線 (W=30cm) 3.0m (概算)

標準断面図

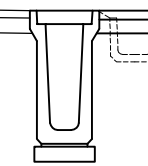
S=1/50

I - I'



舗装復旧工(5-10)0.50 舗装復旧工(5-10)0.40

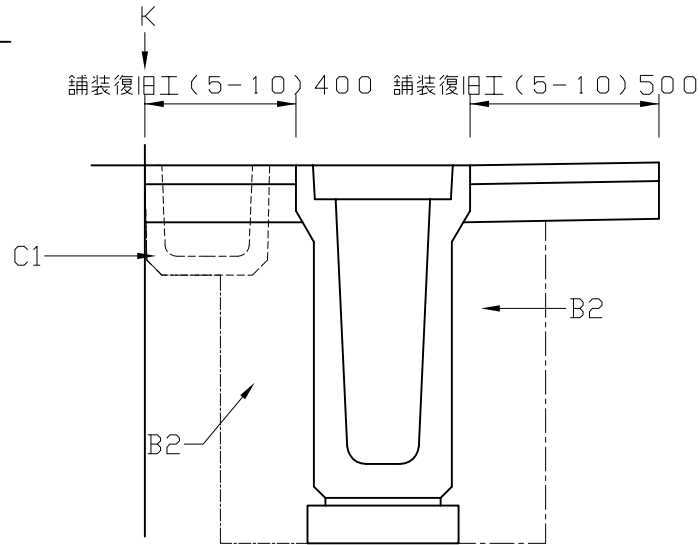
表層(再生密As t=5cm)
プライムコート
下層路盤(RC-40 t=10cm)



- ※ 標準断面図の破線は、現況を示す。
- ※ 標準断面図の実線は、計画を示す。
- ※ B1は構造物断面記号を示す。
- ※ 区画線は現況に合わせて復旧すること。

工事名	市道 号線外1線 道路改良工事		
路線名	市道 号線		
工事箇所	一宮市	地内	
図面名称	平面図・標準断面図		
縮尺	図示	単位	m
図面番号	1	設計者	
一宮市役所建設部道路課			

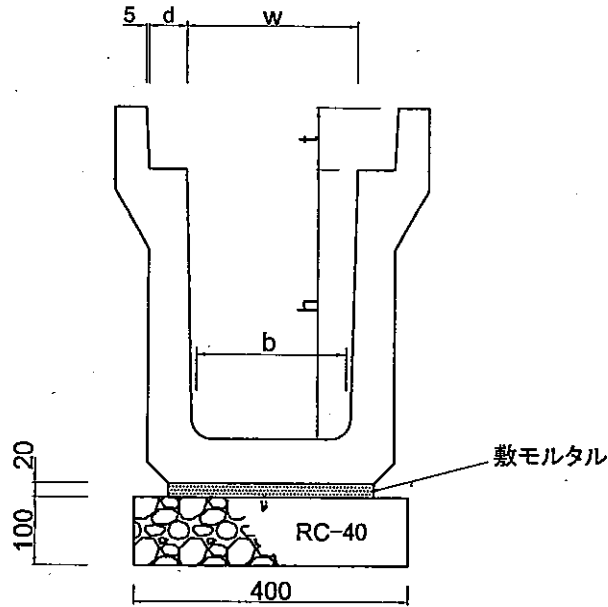
B1



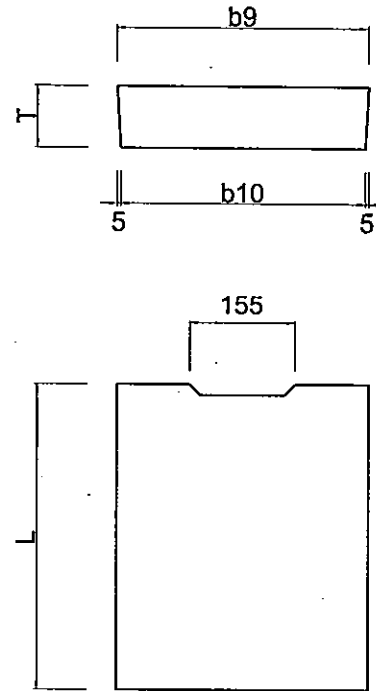
土 量 数 量 (1m当り)	断面		B1					
	使用断面		○					
床掘	C	(m³)	0.90					
AS殻処分		(m³)	0.05					
コンクリート構造物処分	C1	(m³)	0.04					
コンクリート構造物取壊し	C2	(m³)						
埋戻(流用土)	B1	(m³)						
埋戻(RC-40)	B2	(m³)	0.40					
埋戻(砂)	B3	(m³)						
モルタル(1:2)	M	(m³)						
接着	S	(m²)						

PU深型側溝工250 (参考図)

一宮市建設部道路課



PC4型



呼び名	寸法 (単位/mm)							参考重量 (kg)
	w	h	d	t	L	b		
250×300	250	300	55	90	2000	230	380	
250×350	250	350	55	90	2000	220	408	
250×400	250	400	55	90	2000	220	460	
250×450	250	450	55	90	2000	210	516	
250×500	250	500	55	90	2000	210	576	
250×550	250	550	55	90	2000	200	640	
250×600	250	600	55	90	2000	195	670	
○ 250×700	250	700	55	90	2000	185	725	
250×800	250	800	55	90	2000	175	819	

材料表 (10m 当り)	
基礎材 (RC-40)	0.40m ³
深型側溝	5個
甲蓋 (250用)	18.8枚
グレーチング (250用)	1枚

PC4型寸法表

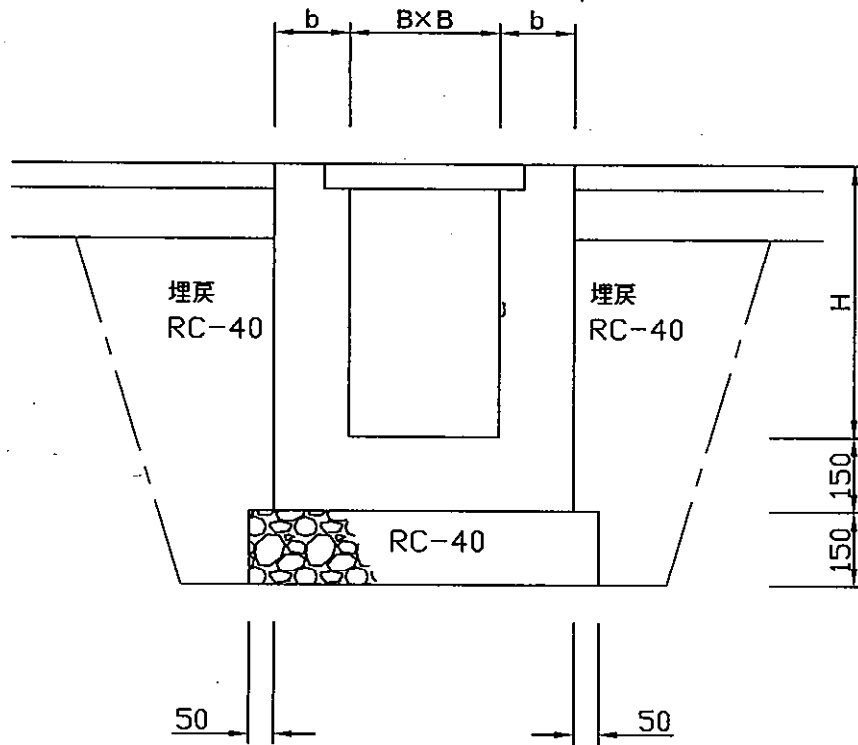
記号	寸法 (単位/mm)				1枚当り重量 (kg)	適用
	b9	b10	T	L		
○ PC4-B250	362	352	90	500	37	JIS A-5372 (2000)

※ 甲蓋については騒音防止型とする。

※ グレーチングについては、細目・ゴム付・ノンスリップとする。

集水樹工

S=FREE



1箇所当り

使用	寸法 (mm)			土量表			材 料 表		
	B	H	b	床掘	埋戻 (RC-40)	基礎碎石 (RC-40)	型 枠	生コンクリート 18-8-25BB	グレーチング蓋 枠 共 T-25
				m ²	m ³	m ³	m ²	m ³	組
○	□500× 700	150	2.35	1.79	0.8	4.9	0.30	1	
	□500× 800	150	2.72	2.10	0.8	5.4	0.34	1	
	□500× 900	150	3.12	2.44	0.8	6.0	0.38	1	
	□500× 1000	150	3.59	2.85	0.8	6.5	0.42	1	
	□600× 700	150	2.64	1.93	1.0	5.6	0.37	1	
	□600× 800	150	3.05	2.27	1.0	6.2	0.41	1	
	□600× 900	150	3.49	2.63	1.0	6.8	0.46	1	
	□600× 1000	150	3.96	3.01	1.0	7.4	0.50	1	
	□700× 700	150	2.94	2.08	1.2	6.3	0.44	1	
	□700× 800	150	3.40	2.44	1.2	7.0	0.49	1	
	□700× 900	150	3.89	2.82	1.2	7.6	0.54	1	
	□700× 1000	150	4.40	3.23	1.2	8.3	0.59	1	
	□700× 1100	200	5.44	3.91	1.4	9.5	0.90	1	
	□800× 900	150	4.70	3.80	1.4	8.8	0.51	1	

※グレーチング蓋は四方枠・ノンスリップタイプ・ボルト固定・細目・取手付とする。

名 称	集水樹工
縮 尺	FREE
一宮市建設部道路課	

第 回条件変更確認請求通知書

平成 年 月 日

一宮市長 中野 正康 殿

〇〇建設株式会社 印
代表者 〇〇〇〇

平成 年 月 日付けで契約した下記工事について、一宮市公共工事請負契約約款第19条第1項に基づき通知します。

記

工事名		路線名	
工事場所			
通知事項等			
様式「通知事項等」のとおり			

様式「通知事項等」

		確認請求通知事項【請負者】(A) 様式33「条件変更確認請求通知書」の通知事項等	確認通知事項【発注者】(B) 様式34「条件変更確認通知書」の通知事項等	備考
I 工 法 関 係	工事施工関係			
	工事用道路			
	品質管理関係			
	その他			
II 工 程 関 係	関連工事			
	関係機関協議			
	その他			
III 用 地 関 係	用地関係			
IV 安 全 対 策	安全対策関係			
V 建 設 副 産 物	建設発生土			
	建設廃棄物			
VI 資 料 の 確 認	資料の確認			
VII 設 計 図 書	設計図書の確認	現場確認後の数量と概算数量の差異は、別添「工事計画図書」とおり		

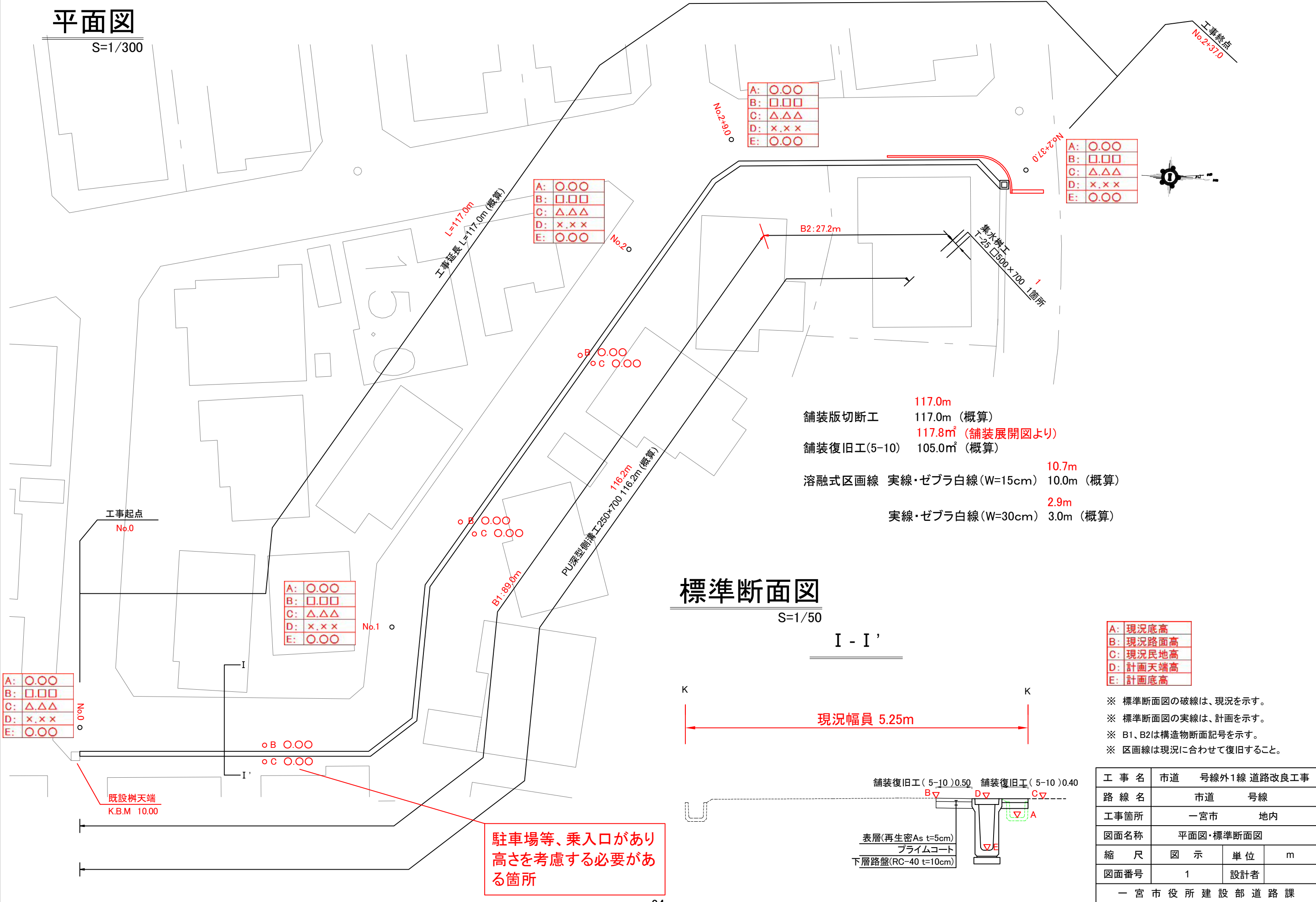
※ 請負者は、条件確認すべき事項をA欄に記入し、様式33の1に添付し通知すること。また、当該「通知事項等」を電子データで送付すること。

※ 発注者は、受理したデータを活用し、条件確認に対する回答事項をB欄に記入し、様式34の1に添付し通知すること。

集 計 表				工事延長 L= 117.0 m(概算)		
工 種	種 別	細 別	規 格	計 算	単 位	数 量
道路土工	作業土工	床掘		(概算) $0.90 \times 116.2 + 2.35 = 106.9$	m ²	107
		埋戻 (RC-40)		(概算) $0.40 \times 116.2 + 1.79 = 48.3$	m ²	48
	残土処理工	残土処理		(概算) $107.0 - 4.7 - 5.9 = 96.4$ $106.9 - 4.6 - 5.8 = 96.5$	m ²	96 97
構造物撤去工	構造物取壊し工	舗装版切断工		(概算) 117.0	m	117
	運搬処理工	殻運搬処理	Co殻	(概算) $0.04 \times 116.2 = 4.6$	m ²	5
		殻運搬処理	As殻	(概算) $0.05 \times 116.2 = 5.8$	m ²	6
		濁水運搬		(概算) 0.2	台・回	0 2
		濁水処理		(概算) 0.2	m ²	0 2
舗装工	アスファルト舗装工	舗装復旧工	(5-10)	(概算) $0.90 \times 117.0 = 105.3$	m ²	118 105
排水構造物工	側溝工	PU深型側溝工	250 × 700	(概算) $89.2 + 27.2 = 116.2$	m	116 2
	集水柵工	集水柵工	T-25 □500 × 700	(概算) 1.0	箇所	1
区画線工	区画線設置工	熔融式区画線	実線・ゼブラ15cm	(概算) 10.7 10.0	m	11 10
		熔融式区画線	実線・ゼブラ30cm	(概算) 2.9 3.0	m	2 9 3
道路付属施設工	道路付属物工	モルタル	1:2	0.76	m ²	0 7 6
		接着剤		5.2	m ²	5 2
共通仮設費	準備費	工事計画図書作成費	展開図作成費		km	0 1 2
			数量計算書作成費(数量総括表含む)		km	0 1 2

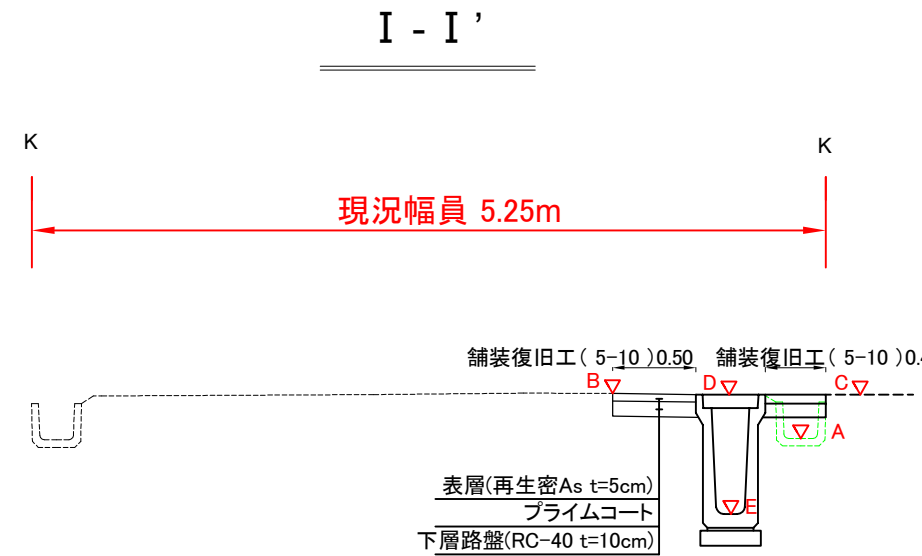
平面図

S=1/300



標準断面図

S=1/50



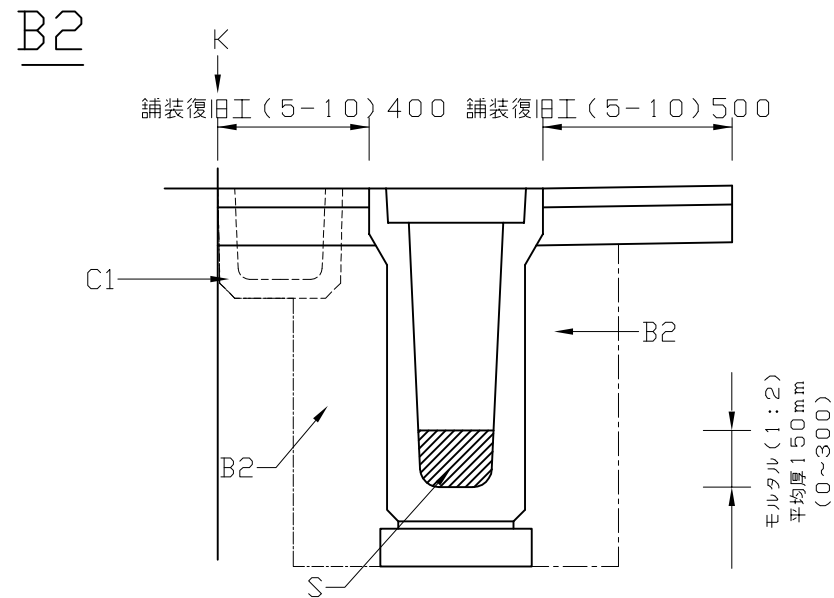
A:	現況底高
B:	現況路面高
C:	現況民地高
D:	計画天端高
E:	計画底高

- ※ 標準断面図の破線は、現況を示す。
- ※ 標準断面図の実線は、計画を示す。
- ※ B1、B2は構造物断面記号を示す。
- ※ 区画線は現況に合わせて復旧すること。

舗装版切断工	117.0m	(概算)
舗装復旧工(5-10)	117.8㎡	(舗装展開図より)
溶融式区画線 実線・ゼブラ白線 (W=15cm)	10.7m	(概算)
実線・ゼブラ白線 (W=30cm)	2.9m	(概算)
105.0㎡	10.0m	(概算)

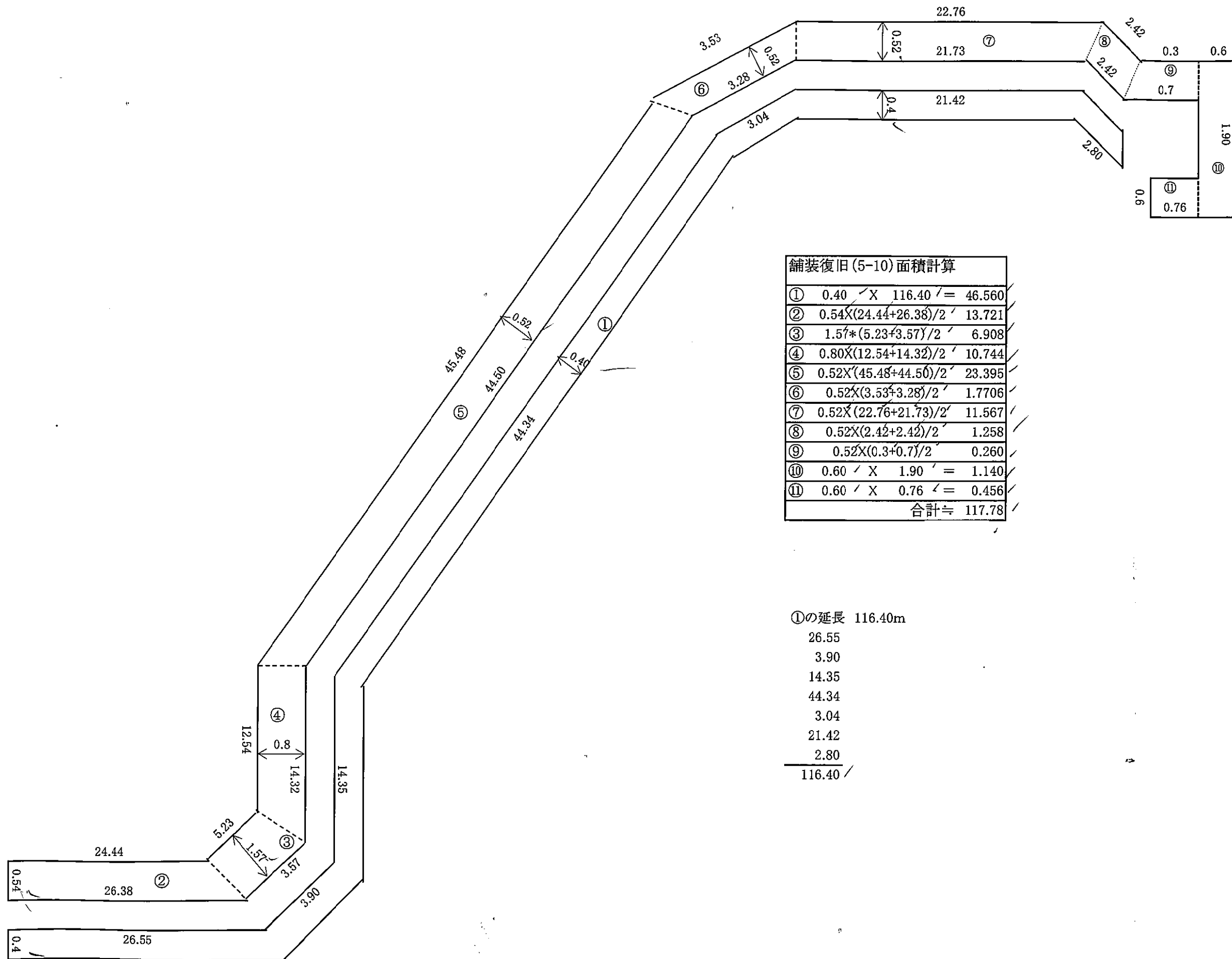
駐車場等、乗入口があり
高さを考慮する必要がある箇所

工事名	市道	号線外1線	道路改良工事
路線名	市道	号線	
工事箇所	一宮市	地内	
図面名称	平面図・標準断面図		
縮尺	図示	単位	m
図面番号	1	設計者	
一宮市役所建設部道路課			



※新規工種であるが、標準構造図であるので市から提供

土量数量 (1m当り)	断面		B2					
	使用断面		○					
床掘	C	(m³)	0.90					
As殻処分		(m³)	0.05					
コンクリート構造物処分	C1	(m³)	0.04					
コンクリート構造物取壊し	C2	(m³)						
埋戻(流用土)	B1	(m³)						
埋戻(RC-40)	B2	(m³)	0.40					
埋戻(砂)	B3	(m³)						
モルタル(1:2)	M	(m³)	0.0278					
接着	S	(m²)	0.19					



舗装復旧(5-10)面積計算

①	$0.40 \text{ ' } \times 116.40 \text{ '}$	$= 46.560$
②	$0.54 \times (24.44 + 26.38) / 2$	$= 13.721$
③	$1.57 \times (5.23 + 3.57) / 2$	$= 6.908$
④	$0.80 \times (12.54 + 14.32) / 2$	$= 10.744$
⑤	$0.52 \times (45.48 + 44.50) / 2$	$= 23.395$
⑥	$0.52 \times (3.53 + 3.28) / 2$	$= 1.7706$
⑦	$0.52 \times (22.76 + 21.73) / 2$	$= 11.567$
⑧	$0.52 \times (2.42 + 2.42) / 2$	$= 1.258$
⑨	$0.52 \times (0.3 + 0.7) / 2$	$= 0.260$
⑩	$0.60 \text{ ' } \times 1.90 \text{ '}$	$= 1.140$
⑪	$0.60 \text{ ' } \times 0.76 \text{ '}$	$= 0.456$
		合計 $= 117.78$

①の延長 116.40m
 26.55
 3.90
 14.35
 44.34
 3.04
 21.42
 2.80
 116.40 /

本工事内訳書

道路第
契 約
工 期

設 計 書

工 事 名 市道 号線 舗装改良工事

概算数量発注方式適用工事
(全部 ・ 一部)

工 事 場 所 一宮市 地内

設 計 金 額 金 円也 工 事 価 格 円也

消 費 税 相 当 額 円也

〈 概 要 〉

工事延長 L = 155.0m (概算)

舗装面積 A = 1,150m² (概算)

本工事費内訳書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考欄
舗装	式	1			費目行	
舗装工	式	1			工種行	
路面切削工	式	1			種別行	
路面切削工 【切削厚10cm】	m2	1,150			1号明細書 10頁	(概算)
般運搬処理 【As殻 運搬距離4km】	m3	115			2号明細書 11頁	(概算)
アスファルト舗装工	式	1			種別行	
基層工 【再生粗粒度As 舗装厚5cm 1.4m≦b】	m2	1,150			3号明細書 12頁	(概算)
表層工 【再生密粒度As 舗装厚5cm 1.4m≦b】	m2	1,150			4号明細書 13頁	(概算)
区画線工	式	1			工種行	
区画線設置工 500m以上	式	1			種別行	
溶融式区画線設置工 【実線・ゼブラ15cm 500m以上】	m	280			5号明細書 14頁	(概算)
溶融式区画線設置工 【実線・ゼブラ30cm 500m以上】	m	17			6号明細書 15頁	(概算)

本工事費内訳書

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考欄
溶融式区画線設置工 【実線・ゼブラ45cm 500m以上】	m	45			7号明細書 16頁	(概算)
溶融式区画線設置工 【破線15cm 500m以上】	m	85			8号明細書 17頁	(概算)
溶融式区画線設置工 【矢印・記号・文字15cm換算500m以上】	m	1.5			9号明細書 18頁	(概算)
仮区画線設置工 200m未満	式	1			種別行	
ペイント式区画線設置工 【実線45cm 200m未満】	m	28			10号明細書 19頁	(概算)
ペイント式区画線設置工 【破線15cm 200m未満】	m	75			11号明細書 20頁	(概算)
直接工事費						
(処分費等)	式	1			1号内訳書 4頁	
共通仮設費計						
共通仮設費(積上分計)						
運搬費	式	1			2号内訳書 5頁	
安全費	式	1			3号内訳書 6頁	

準備費

本工事費内訳書

名称・規格	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	備 考 欄
共通仮設費(率分)	式					
		1			4号内訳書 7頁	
純工事費						
現場管理費	式					
		1			5号内訳書 8頁	
工事原価						
一般管理費等	式					
		1			6号内訳書 9頁	
契約保証	%					
		0.04				
一般管理費等計						
工事価格						
消費税相当額	%					
		8				
設計価格						

集 計 表		工事延長 L= 155.0 m (概算)				
工 種	種 別	細 別	規 格	計 算	単 位	数 量
舗装工	路面切削工	路面切削工	切削厚10cm	$7.45 \times 155.0 = 1154.75$	m ²	1150
		廃材運搬処理		$1154.75 \times 0.10 = 115.48$	m ²	115
舗装工	アスファルト舗装工	基層工	再生粗粒As 舗装厚5cm $1.4 \leq b$	$7.45 \times 155.0 = 1154.75$	m ²	1150
		表層工	再生密粒As 舗装厚5cm $1.4 \leq b$	$7.45 \times 155.0 = 1154.75$	m ²	1150
区画線工	区画線設置工	溶融式区画線	実線・ゼブラ15cm	280.0	m	280
		溶融式区画線	実線・ゼブラ30cm	17.0	m	17
		溶融式区画線	実線・ゼブラ45cm	45.0	m	45
		溶融式区画線	破線15cm	85.0	m	85
		溶融式区画線	矢印・記号・文字15cm換算	1.5	m	1.5
		仮区画線設置工	ペイント式区画線	実線45cm	28.0	m
		ペイント式区画線	破線15cm	75.0	m	75
共通仮設費	準備費	工事計画図書作成費	展開図作成費		km	0.16
		工事計画図書作成費	区画線図作成費		km	0.16
		工事計画図書作成費	数量計算書作成費(数量総括表含む)		km	0.16

特記仕様書

(仕様書の添付省略)

第1条 一宮市公共工事請負契約約款第1条第1項に規定する仕様書のうち、工事標準仕様書の添付を省略する。
 なお、愛知県土木工事標準仕様書及び一宮市工事検査実施基準等は、一宮市総務部工事検査課HPIにて、最新のものを確認すること。

(公表歩掛の参考明示)

第2条 この設計書に記載されている歩掛等は、標準的な施工方法を参考明示したものであり、設計図書に特別の定めのある場合を除き、指定するものではない。

(施工条件の明示)

第3条 下記項目のうち適用項目○印該当欄は、当該工事に関する施工条件であり、特記仕様書として明示する。
 なお、参考明示○印該当欄は、積算上の条件明示であり、指定するものではない。

大項目	中項目	適用項目	小項目	明示事項	内容	参考明示													
I	工法関係	①	工事施工関係	1	工法指定	指定工種及び工法 工法指定する理由													
				2	仮設工事	仮設工法 仮設工法選定条件													
				3	仮設備	仮設備の構造 仮設備の施工方法 仮設備の設計条件													
				4	現場発生品	品名・規格・数量 引渡場所・運搬距離 再使用の有無													
				5	支給品及び貸与品	品名・規格・数量 品質・性能 引渡場所・運搬距離													
		②	工用道路	1	仮道路	仮設道路の構造 安全施設等の設置内容 安全施設等の設置期間 工事終了後の存置・撤去 維持補修の内容													
		③		品質関係	1	品質管理	品質管理に関する条件												
		II	工程関係	①	関連工事	1	関連工事	関連する工事名及び発注者 関連する工事内容 調整結果内容 施工に係る条件											
						2	占用支障物件協議	占用支障物件名 協議結果内容 施工に係る条件 協議成立見込時期(未了の場合)											
						②	関係機関協議	1	交差協議	協議機関名 協議結果の内容 施工に係る条件 協議成立見込時期(未了の場合)									
2	法令等手続き							手続き先機関 協議結果の内容 施工に係る条件 協議成立見込時期(未了の場合)											
III	用地関係			①	用地関係	1	立木伐採	対象範囲 処理方法											
IV	安全策関係			①	安全策関係	1	交通安全施設	指定の内容 指定の期間											
		2	近接施工			近接する施設 施工方法・作業時間帯等													
		○	交通誘導警備員等の配置			上記該当路線名 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">配置位置</th> <th colspan="2">配置人数</th> <th rowspan="2">時間</th> <th rowspan="2">交替要員</th> <th rowspan="2">期間</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>A</th> <th>B</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施工箇所付近</td> <td></td> <td>○</td> <td>8:00~17:00</td> <td>無</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	配置位置	配置人数		時間	交替要員	期間	備考	A	B	施工箇所付近		○	8:00~17:00
配置位置	配置人数		時間	交替要員	期間	備考													
	A	B																	
施工箇所付近		○	8:00~17:00	無															

A…公安委員会の検定合格者 B…資格者以外

大項目	中項目	適用項目	小項目	明示事項	内容				参考明示						
V	建設副産物	①	建設発生土	1	建設発生土の利用	搬入元利用方法	数量	土質区分	片道運搬距離	備考					
						現場内利用									
						現場利用条件	土質試験	項目							
							土質改良	箇所・数							
							仮置き場								
	○	2	建設発生土の搬出	搬出先	数量	土質区分	片道運搬距離	備考	○						
				丸石(株)一宮営業所	82㎡	2種	4.0km								
	○	②	建設廃棄物	○	1	建設廃棄物の処理	建設廃棄物の種類	処理等施設の名称	片道運搬距離	備考	○				
							コンクリート塊	大成ロテック(株) (小牧市小木東)	9.1km						
							アスファルト塊	大成ロテック(株) (小牧市小木東)	9.1km						
濁水 (舗装版切断)							五曠建設(株) (一宮市千秋町浮野)	10.0km							
VI	資料の確認	①	資料の確認	1	測量成果簿の貸与										
				2	用地境界杭の確認資料提示										
				3	測量基準点の確認資料提示										
				4	設計委託成果の貸与										
				5	設計委託成果の貸与										
VII	その他	①	その他	1	調査・試験等に対する協力										
				2	工事施工後にしか設計数量が定まらない工種										
				○	3	概算数量発注方式	特記仕様書(概算数量発注方式)	別紙のとおり							

(使用資材)

第4条 本工事に使用する資材等は、品質が規格値を満足し、かつ価格が適正である場合には県内産品の優先使用に努めること。

- 2 本工事において使用する木材は、原則として「あいち認証材」とし、それにより難しい場合は監督員と協議すること。
リサイクル資材の率先利用を図るため、「一宮市の環境物品の調達の推進に関する基本方針」に基づくグリーン調達資材を遵守し、あいくる材として認定されている資材の利用拡大に努めること。
- 3 あいくる材の使用に関する市への書類提出は不要とする。

(街区基準点)

第5条 工事区間内に街区基準点の設置が判明した場合は、一宮市建設部道水路管理課と協議し、指示に従うこと。

(現場打ちの鉄筋コンクリート構造物におけるスランプ値の設定等)

第6条 現場の鉄筋コンクリート構造物の施工にあたっては、「流動性を高めた現場打ちコンクリートの活用に関するガイドライン(平成29年3月)」を基本とし、構造物の種類、部材の種類と大きさ、鋼材の配筋条件、コンクリートの運搬、打込み、締固め等の作業条件を適切に考慮し、スランプ値を設定するものとする。ただし、一般的な鉄筋コンクリート構造物においては、スランプ値は12cmとすることを標準とする。

- 2 請負者は、設計図書のスランプ値を変更に際して、コンクリート標準示方書(施工編)の「最小スランプの目安」等に基づき協議資料を作成し、監督員へ提出し協議するものとする。
なお、品質確認方法については、監督員と協議するものとする。
- 3 第1条に記載のある仕様書及び設計図書等の関係図書に記載のある一般的な鉄筋コンクリート構造物のスランプ値は、8cmを12cmと呼ぶ。

(施工計画書)

第7条 請負者は、請負額が3500万円未満の場合、施工計画書の記載内容の省略する項目について、監督員との協議又は指示に従うこととする。

(電子納品)

第8条 工事写真については、工事写真の電子納品実施要領に基づくものとする。

- 2 その他の書類については、電子納品の対象としない。
ただし、電子納品を希望する場合は、詳細な取扱い等、監督員との協議又は指示に従うこととする。

特記仕様書(概算数量発注方式)

第1条 本設計は概算数量により積算したものである。設計数量は「工事計画図書」により確定するものとする。

第2条 本設計は、平面図及び標準断面図のみで発注している。そのため、当初設計内容を踏まえ、請負者において現場を調査し、「工事計画図書」を作成するものとする。

なお、「工事計画図書」の作成は、「工事計画図書作成要領(一宮市)」に準拠するものとする。

第3条 第2条でいう「工事計画図書」とは、下記の図書をいう。

- 1) 平面図、展開図、区画線図の実施予定図面。
- 2) 実施予定の集計表、数量計算書。

第4条 請負者は速やかに「工事計画図書」を作成し、条件変更確認請求通知書を監督員に提出し、条件変更確認通知書及び設計変更協議書を監督員から得なければならない。

第5条 「工事計画図書」の内容が反映された設計変更協議書に承諾後、工事を実施する。

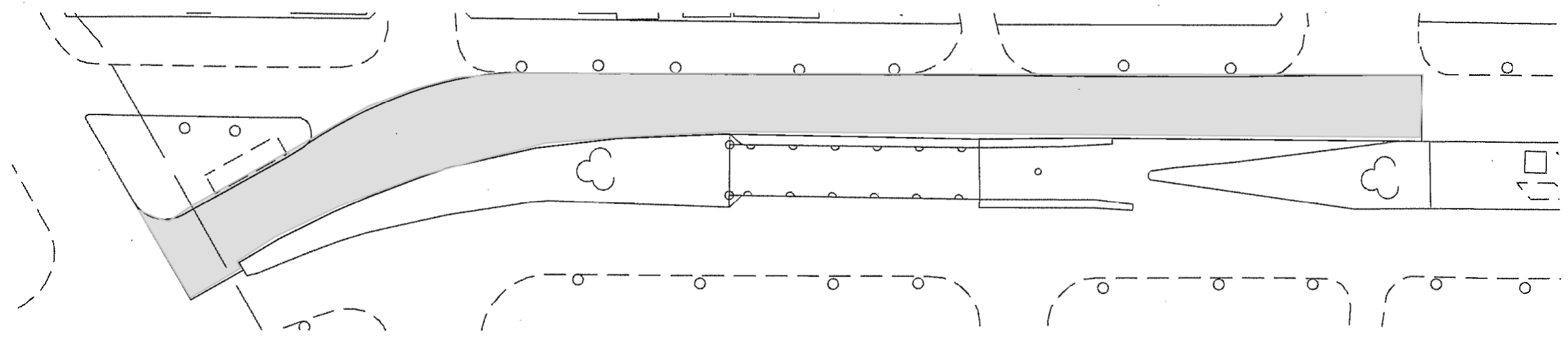
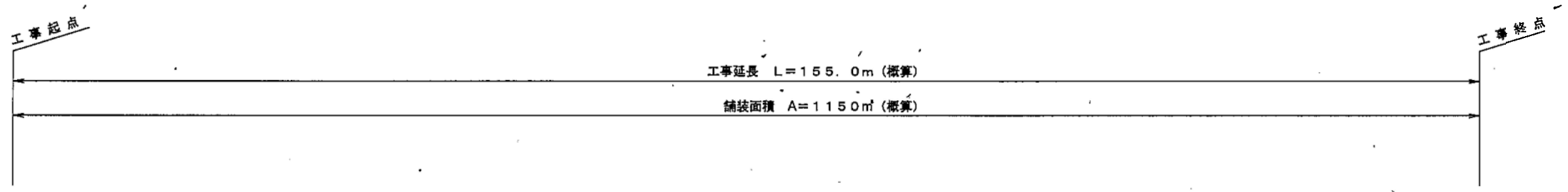
第6条 「工事計画図書」の作成に要する費用は、共通仮設費の準備費に計上している。

第7条 請負者は本工事に関して、疑義が生じた場合には、速やかに監督員と協議すること。

第8条 本工事の工期には、工事計画図書作成に必要な日数15日を加算している。

平面図

S=1/500



区画線設置工

実線・白・W=15cm	280m (概算)
実線・白・W=30cm	17m (概算)
実線・白・W=45cm	45m (概算)
破線・白・W=15cm	85m (概算)
記号・文字・矢印・白・W=15cm換算	1.5m (概算)

仮区画線設置工

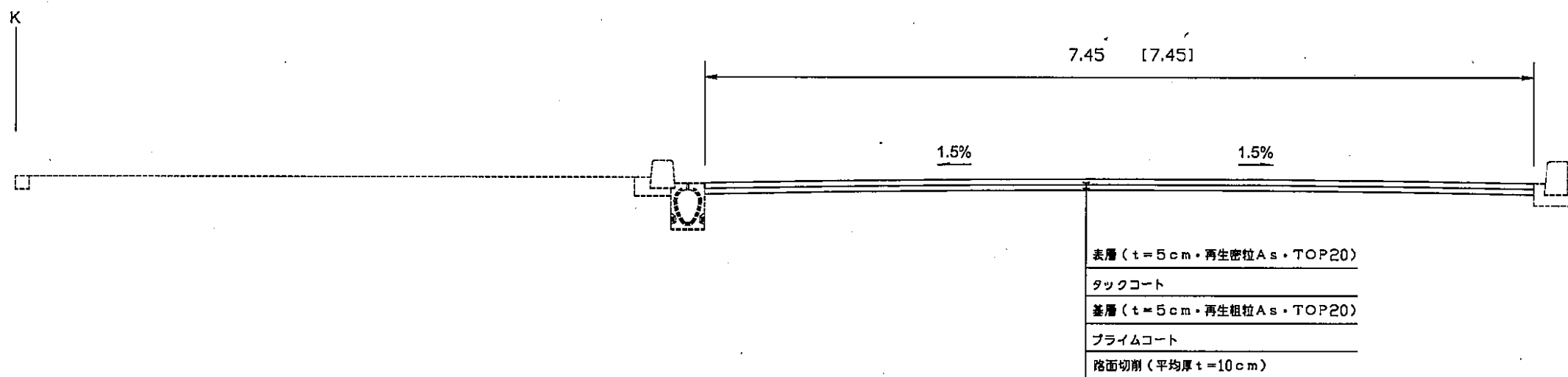
実線・白・W=45cm	28m (概算)
破線・白・W=15cm	75m (概算)

*区画線は、現場に合わせて復旧すること。

工事名	市道	号線 舗装改良工事
路線名	市道	号線
工事箇所	一宮市	地内
図面名称	平面図	
設計者		
図面番号	1/2	
一宮市建設部道路課		

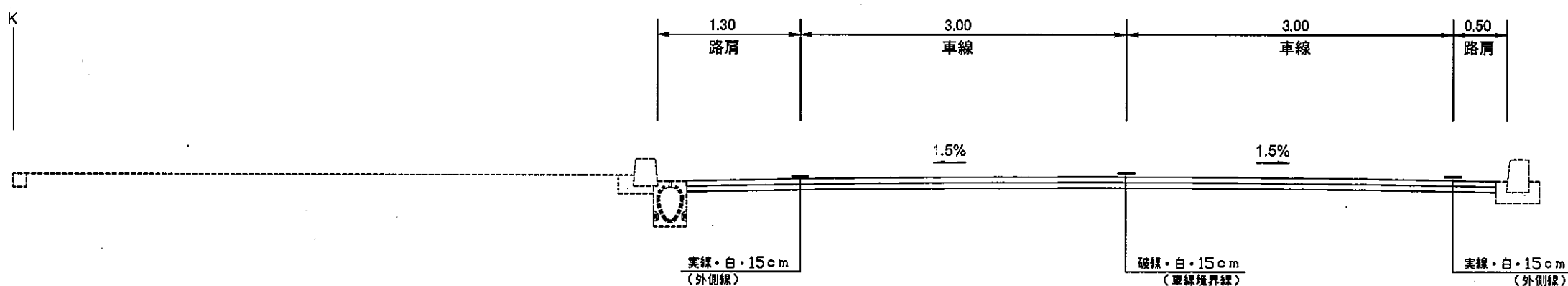
標準断面図

S=1/50



区画線工標準図

S=1/50



* 区画線は、現場に合わせて復旧すること。

工事名	市道	号線	舗装改良工事
路線名	市道	号線	
工事箇所	一宮市	地内	
図面名称	横断面図、区画線工標準図		
設計者			
図面番号	2/2		
一宮市建設部道路課			

第 回条件変更確認請求通知書

平成 年 月 日

一宮市長 中野 正康 殿

〇〇建設株式会社 印
代表者 〇〇〇〇

平成 年 月 日付けで契約した下記工事について、一宮市公共工事請負契約約款第19条第1項に基づき通知します。

記

工事名		路線名	
工事場所			
通知事項等			
様式「通知事項等」のとおり			

様式「通知事項等」

		確認請求通知事項【請負者】(A) 様式33「条件変更確認請求通知書」の通知事項等	確認通知事項【発注者】(B) 様式34「条件変更確認通知書」の通知事項等	備考
I 工法関係	工事施工関係			
	工事用道路			
	品質管理関係			
	その他			
II 工程関係	関連工事			
	関係機関協議			
	その他			
III 用地関係	用地関係			
IV 安全対策	安全対策関係			
V 建設副産物	建設発生土			
	建設廃棄物			
VI 資料の確認	資料の確認			
VII 設計図書	設計図書の確認	現場確認後の数量と概算数量の差異は、別添「工事計画図書」とおり		

※ 請負者は、条件確認すべき事項をA欄に記入し、様式33の1に添付し通知すること。また、当該「通知事項等」を電子データで送付すること。

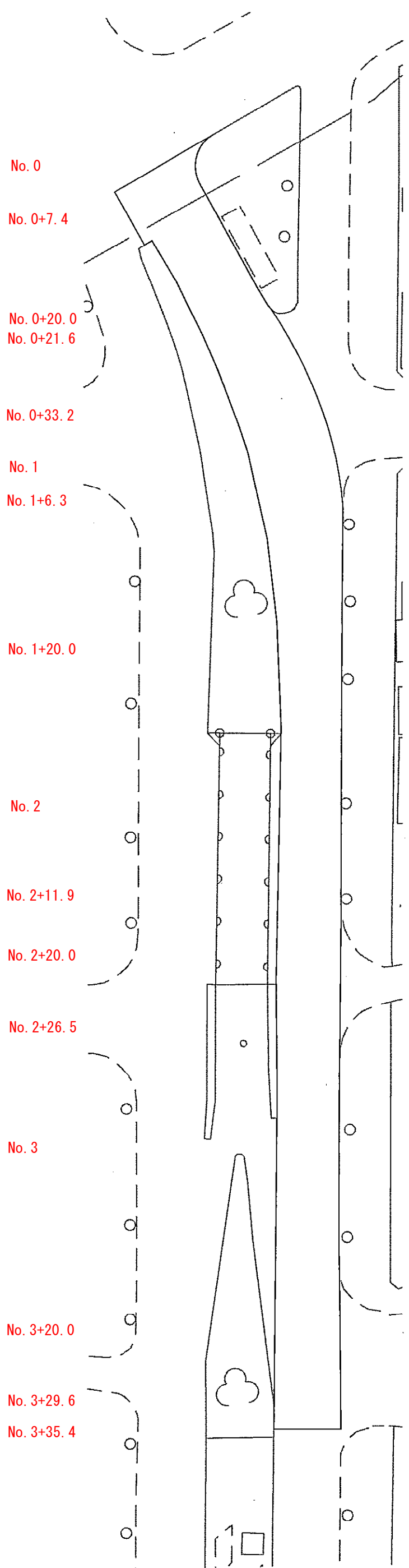
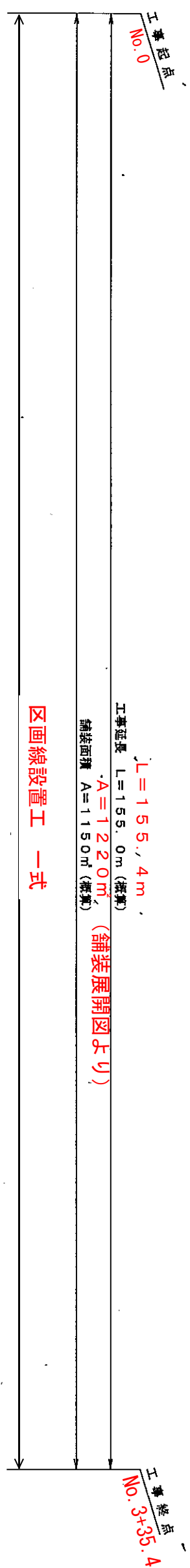
※ 発注者は、受理したデータを活用し、条件確認に対する回答事項をB欄に記入し、様式34の1に添付し通知すること。

L=155.4m

集		計		表		工事延長 L=155.0 m (概算)		
工種	種別	細別	規格	計 算	単位	数 量		
舗装工	路面切削工	路面切削工	切削厚10cm	1221.07 7.45×155.0=1154.75	m ²	1220	1150	
		廢材運搬処理		122.11 1154.75×0.10=115.48		m ²		122 115
舗装工	アスファルト舗装工	基層工	再生粗粒As 舗装厚5cm 1.4≦b	1221.07 7.45×155.0=1154.75	m ²	1220	1150	
		表層工	再生密粒As 舗装厚5cm 1.4≦b	1221.07 7.45×155.0=1154.75		m ²		1220 1150
区画線工	区画線設置工	溶融式区画線	実線・ゼブラ15cm	278.0 280.0	m	280	280	
		溶融式区画線	実線・ゼブラ30cm	17.4 17.0		m		17
		溶融式区画線	実線・ゼブラ45cm	44.4 45.0	m	44 45		
		溶融式区画線	破線15cm	87.0 85.0	m	87 85		
		溶融式区画線	矢印・記号・文字15cm換算	1.5	m	1	5	
区画線工	仮区画線設置工	ペイント式区画線	実線45cm	27.6 28.0	m	28	28	
		ペイント式区画線	破線15cm	75.0		m		75
共通仮設費	準備費	工事計画図書作成費	展開図作成費		km	0	16	
		工事計画図書作成費	区画線図作成費			0		16
		工事計画図書作成費	数量計算書作成費(数量総括表含む)			0		16

平面图

S=1/500



区画線図より

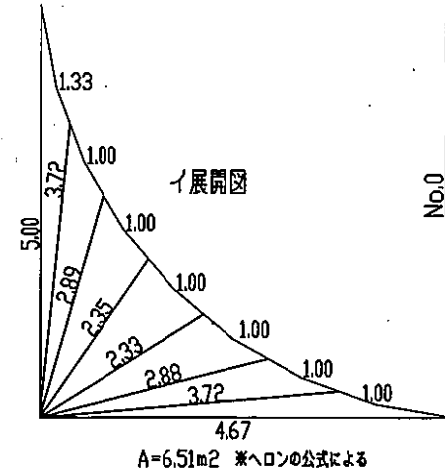
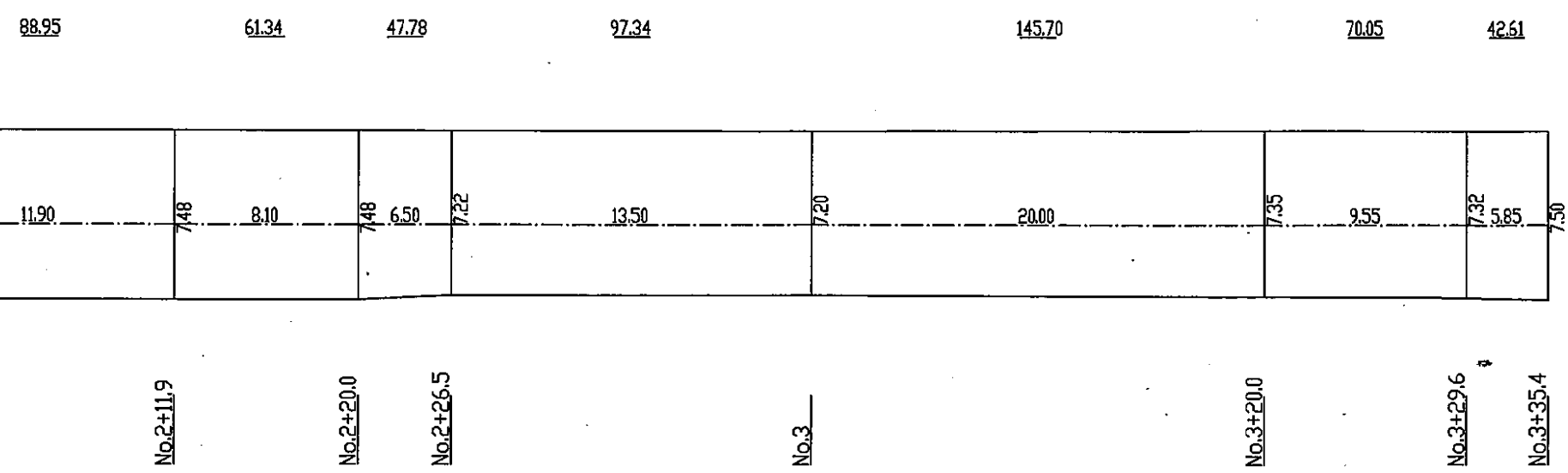
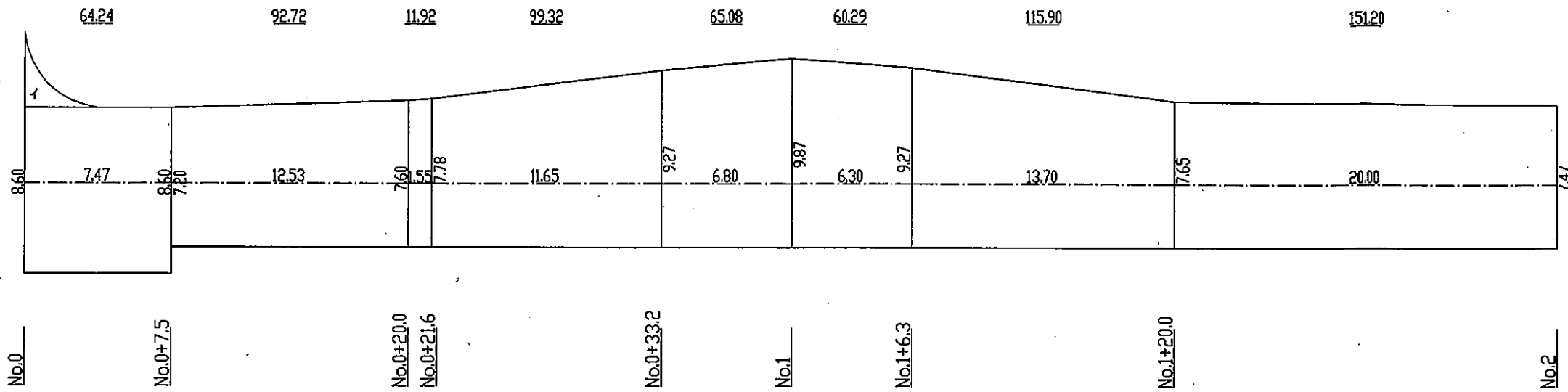
区画線設置工
 実線・白・W=15cm 278.0m
 実線・白・W=30cm 17.4m
 実線・白・W=45cm 44.4m
 破線・白・W=15cm 87.0m
 記号・文字・矢印・白・W=15cm換算 1.5m (概算)

仮区画線設置工
 実線・白・W=45cm 27.6m
 破線・白・W=15cm 75.0m (概算)

*区画線は、現地に合わせて復旧すること。

工事名	市道	号線	舗装改良工事
路線名	市道	号線	
工事箇所	一宮市	地内	
図面名称	平面图		
設計者			
図面番号	1/2		
一宮市建設部道路課			

舗装工展開図



測点間面積計 1221.07

市道		号線	
工事名	市道(号線	舗装改良工事
図面名	舗装工計画展開図(1/1)		
年月日			
縮尺	1/300	図面番号	/
会社名			
事務所名	一宮市建設部道路課		

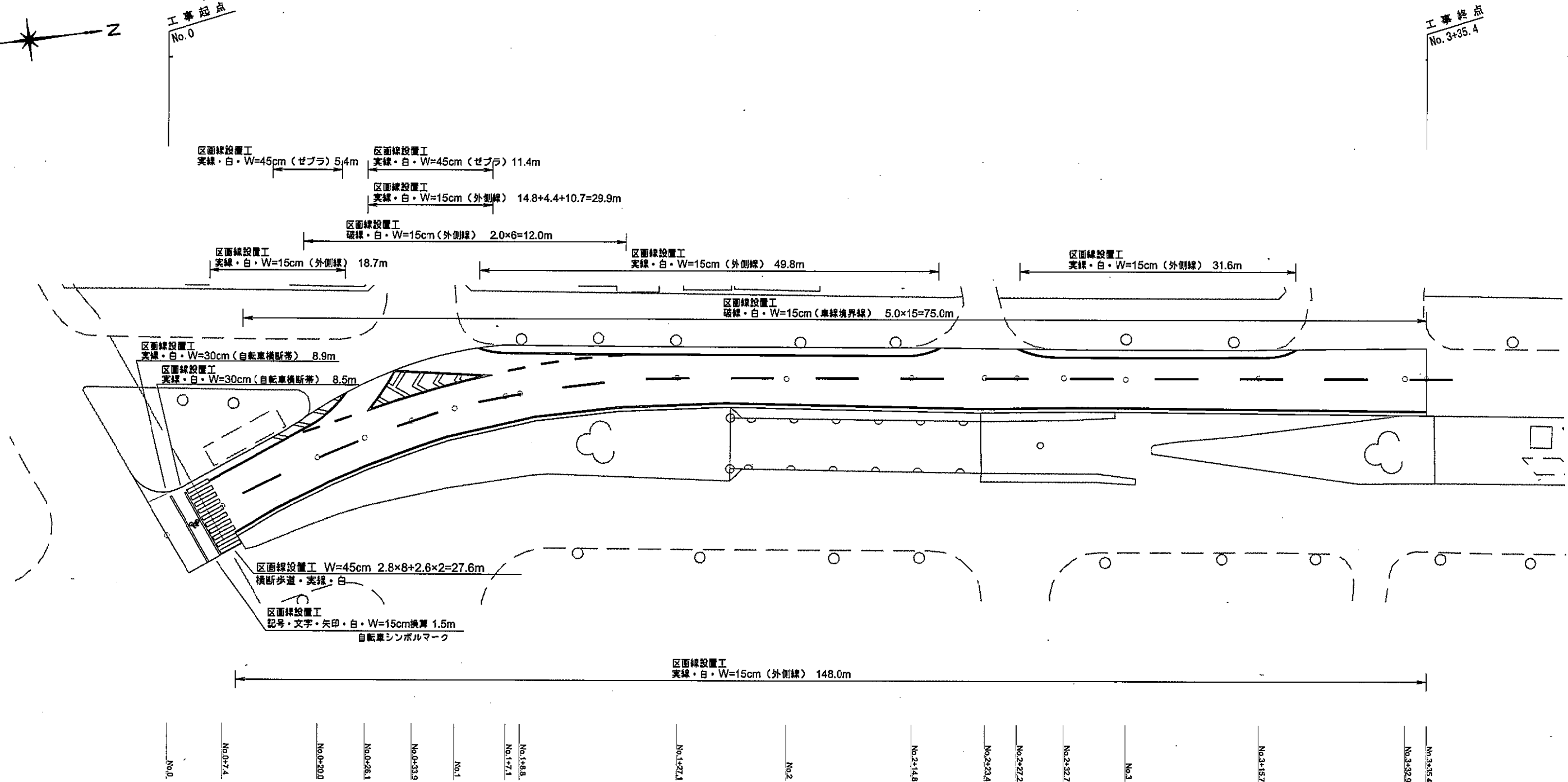
区画線図

S=1/500



工事起点
No.0

工事終点
No.3+35.4



区画線設置工

実線・白・W=15cm 18.7+49.8+31.6+148.0+29.9=278.0m
 実線・白・W=30cm 8.9+8.5=17.4m
 実線・白・W=45cm 27.6+5.4+11.4=44.4m
 破線・白・W=15cm 75.0+12.0=87.0m
 記号・文字・矢印・白・W=15cm換算 1.5m

仮区画線設置工

実線・白・W=45cm 27.6m
 破線・白・W=15cm 75.0m

* 平面図上の測点間隔は、40.0mとする。
 * 区画線は、現場に合わせて復旧すること。

工事名	市道	号線 舗装改良工事
路線名	市道	号線
工事箇所	一宮市	地内
図面名称	平面図	
設計者		
図面番号		
一宮市建設部道路課		